

講師：静岡市立清水看護専門学校 助産学科教師 助産師 稲川由美 様

【いのちの授業】

美和地区では、助産師の稲川様のご協力で、自分自身や周りの人のいのちについて考える「いのちの授業」を 2 年・4 年・6 年・中学 2 年で行っています。

コロナ禍の本年度は昨年度のようにはできませんでしたが、春から中学生になる 6 年生の子ども達が学ぶ機会を作ることができました。思春期を迎える自分たちが、これから大人になっていくときに起こる体の変化や男女の体の違いと、心の変化があることを学びました。そして、その変化には個人差があり、人との



の違いを大切にしたり受け入れたりすることが大事であることに気付くことができました。子ども達は、講師のお話を真剣なまなざしで聞き、自分のいのちの大切さや尊さを感じることができたと思います。

大変お忙しい稲川様ですが、来年度も、美和地区の子ども達への時間を作っていただけると伺い、大変感謝しております。来年度は、低学年から発達段階に応じた指導をしていただけることを楽しみにしています。

(R1 年度 主な学習内容)

- 小2…体を清潔に
ちくちく言葉
プライベートゾーン
- 小4…思春期の身体の変化や命の始まり
妊婦体験
プライベートゾーン
- 小6…思春期の体の変化・男女の体の違い
看護師や助産師の仕事
プライベートゾーン
- 中2…思春期の心や体の変化・男女の体の違い
生命誕生・命・プライベートゾーン
アサーションを用いたコミュニケーション

【6 年生の感想より R2.2.8 実施】

- ・いろいろな変化があることが分かった。
- ・体の変化が激しいと思った。
- ・思春期になると男の子もいろんな変化があり、大変な時期もあることが分かった。
- ・思春期がとても大切な時期であることがわかった。・みんなと違うことがあると気にしてしまうが、個人差があることが分かって安心した。
- ・自分は成長が早い方だと思って少し不安になったりしたが、個人差があるから大丈夫と聞いて安心した。

※「心が傷つく事例について考えよう」では、以下のような感想が、子ども達から出ていました。

- ・悪気なく軽い気持ちでも、茶化したり馬鹿にしたりするようなことは言わないように心がけたい。
- ・自分は遊び半分でも、相手にとったら嫌かもしれないから、気をつけようと思った。
- ・いじめてやろうとは思っていなくても面白いと思ってやっている。相手が傷ついた顔をしていなくても心の中では傷ついている。
- ・自分にとって小さなことでも相手を傷つけてしまう。
- ・嫌がらせをされている人がいたら、優しく声をかけてあげたい。
- ・からかわれたりいじめられたりしている友だちを助けてあげたい。
- ・人をからかわずに、優しくしてあげたい。
- ・ほかの人と違う人がいてもあたたかく見守りたい。
- ・なるべく、ふざけても言わない。